OptiFiber® Pro シリーズ OTDR

概要

OptiFiber Pro® シリーズ OTDR は、データセンター、屋外通信設備 (OSP)、FTTx、および PON 環境向けの Tier 2（拡張）光ファイバー認証ソリューションで、Versiv™ ケーブル認証システム製品です。同システムには、メタル配線認証および OLTS モジュールが含まれます。Versiv の設計には、革新的な ProjX™（プロジェックス）管理システムと Taptive™ （タップティブ）ユーザー・インターフェースが新たに採用されています。ProjX （プロジェックス）は、ジョブの進捗状況を確認を可能にすることで、始めから作業が正しく完了でき、それにより作業の手戻りも削減されます。直感的な Taptive ユーザー・インターフェースを使用したことで、機器の設定と操作が簡単になり、配線技術の初心者でも配線システムのテストとトラブルシューティングができます。測定データの解析と専門的なテスト・レポートは、使い慣れた LinkWare™ 管理ソフトウェアを使用して容易に作成することができます。

光ファイバーの迅速なトラブルシューティングとドキュメント作成

フルーク・ネットワークスの OptiFiber Pro シリーズ OTDR は、あらゆるスキルレベルのユーザーが、データ・センター、屋外通信設備、FTTx や PON アプリケーションなどで作業をより効率的に行えるよう設計されています。テスト対象のファイバーを解析して適切な設定を選択する自動 OTDR 機能を使うことで、経験の浅いユーザーでも素早くセットアップして、トレースを開始できます。EventMap™ 機能は、全体の損失と反射率を計算し、スプライス、スプリッター、曲げ、コネクターなどのイベントを示して、専門的なトレース解析を行います。経験豊富なユーザーは、まずこれらの設定を使用してエキスパート手動モードを開始し、トレースを試すことで、知りたい情報を得ることができます。OptiFiber Pro は高度なタッチスクリーン・インターフェースを備えており、ピンチ/ズームによる詳細な解析を簡単に行えます。

OptiFiber Pro の特許取得済み SmartLoop™ 機能を使用すると、規格要件を満たしながら、2 本のファイバーの自動テストと自動解析を 1 度の操作で行えます。これにより 2 倍以上速くテストを完了できるほか、技術者は OTDR を遠端に移動させたり、外部ソフトウェアを使用したりすることなく、双方向テスト結果の平均値を即座に確認できます。

Versiv ファミリー製品の OptiFiber Pro は単一のユーザー・インターフェースを提供し、さまざまな種類の光ファイバーと波長（850、1300、1310、1490、1550、1625 nm）に対応しているほか、メタル線と Tier 1（光損失）認証および光ファイバー検査向けのモジュールをオプションで利用できます。業界標準の LinkWare ソフトウェアを使用して、サポートされるすべてのメディア・タイプでジョブ全体の 1 つのレポートを素早く生成できます。

独自の機能：

- Taptive （タップティブ）ユーザー・インターフェースにより、あらゆるレベルの技術者が高度なデータ解析、セットアップと操作を簡単に行えます。
- SmartLoop OTDR を使用すると、2 本の光ファイバーの自動テストと自動解析を 1 度の操作で行うことができます。リンクの遠端まで移動してテスト

を実施する必要はありません。

- 複数の波長（850、1300、1310、1490、1550、1625 nm ）でさまざまなアプリケーションに対応します。
- スプリッターを自動的に見つけるスプリッター検出。最多 3 個のスカスケード式スプリッターを検出して、手動で構成できます。
- 自動的に曲げを識別するマクロベンド検出
- エキスパート手動モード – さまざまな設定を簡単に試すことができるため、トレースの特定部分に焦点を絞ることができます。
- イベントの編集または追加 – OTDR で検出されない 0 dB イベント（良好なスプライスなど）を追加したり、イベントを正しい種類（APC コネクター、スプライス、または損失イベントなど）に変更できます。
- リンクの一部を測定 – 長い光ファイバーの特定区間を選択して解析を実行できます。スパン機能を利用すると、担当する部分だけをテストできます。
- スタック（重ね表示）可能な結果とトレースのバッチ処理。同一ファイバーを一度にたくさんテストする場合、バッチ処理を行うことで、複数のトレースをスタックして違いを確認したり、イベントを素早く一括編集できます。
- Linkware™ Live に対応。LinkWare Live を使用することで、作業の進捗状況を追跡し、リアルタイムでテスト結果にアクセスして現場で迅速な問題が解決できます。また、テスターから LinkWare™ PC ケーブル・テスト管理ソフトウェアにテスト結果を転送/統合できます。

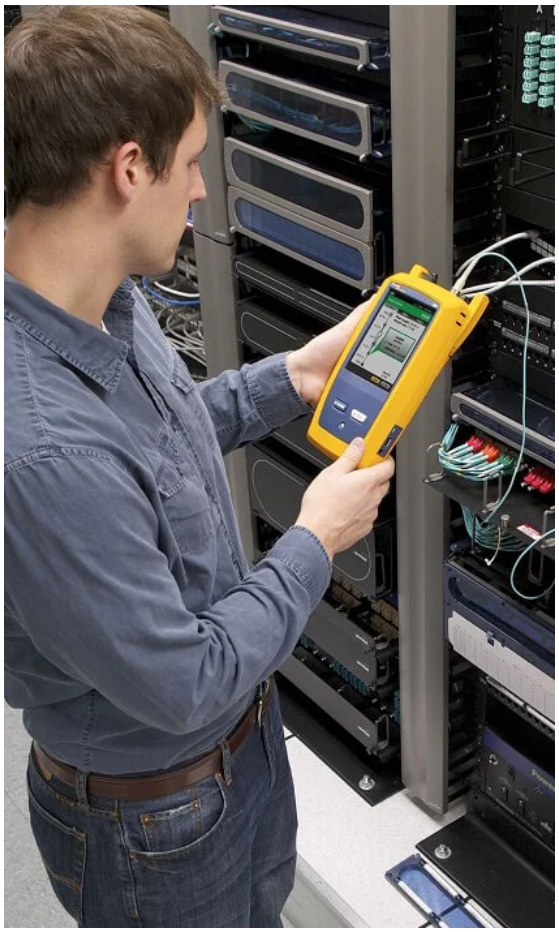
性能：

- クイック・テスト・モードで最短 2 秒でテストを完了。
- 事前にプログラムされた設定でデータセンターの光ファイバーを即座に素早くテスト。
- 自動 OTDR モードで重要なパラメーター（範囲、パルス幅、平均化時間など）を設定することで、誰でも専門的なテストを行えます。エキスパート手動モードを使うと、これらパラメーターを簡単に変更し、重要な情報に焦点を絞ることができます。
- デッド・ゾーンが非常に短いため、短いパッチ･ケーブルやコネクターが多く使用されているデータセンターの光ファイバー・リンクをトラブルシューティングできます。
- EventMap のグラフィカルな表示により、損失が大きなすべてのコネクター、スプライス、領域の性能を把握できます。
- 光ファイバー・コネクター端面の合否判定認証。
- OSP アプリケーションの記録用のレポート作成。
- ProjX 管理システムでミスを低減し、投資利益の増大を達成。
- すべての光ファイバー・タイプの障害を素早く正確に特定して、ネットワークのダウンタイムを低減。
- 内蔵の可視光源 (VFL) により破損したファイバーを簡単に識別

規格対応への柔軟性：

- 業界規格や顧客の仕様に基づいてファイバー・パフォーマンスを認定する高度 OTDR 機能

- ISO および TIA 規格に適合



柔軟性の高い効率的な独自認証

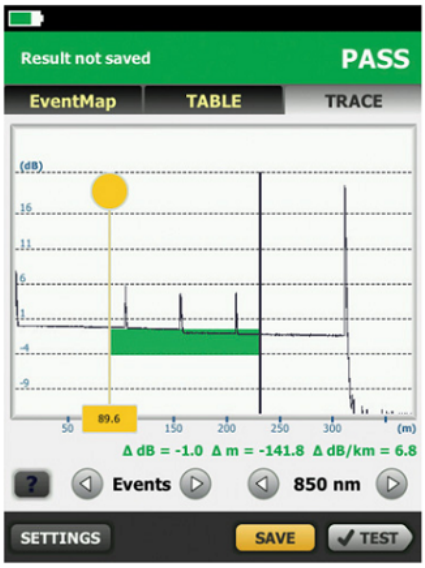
OTDR の価値を最大限に高めるには、日々の業務における的確な利用が重要です。OptiFiber Pro は ProjX 管理システムを搭載しているため、プロジェクト・マネージャーは、各ユーザーの役割、設定、実施する関連タスクを定義できるため、プランニング、検査、認証、レポート作成の機能を備えたオール･イン･ワンの光ファイバー･テスト･ツールとして OTDR を使用できます。

長所：

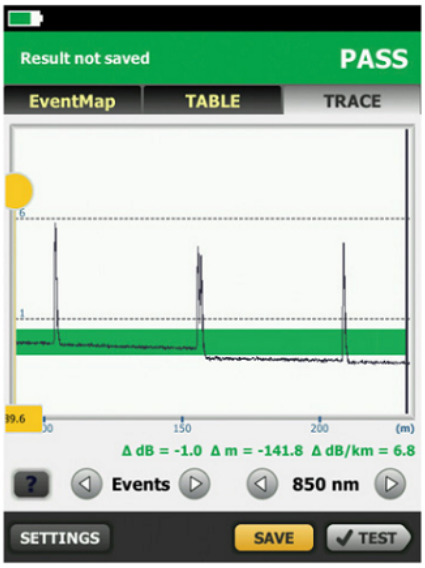
- 強力な ProjX 管理システムにより、オペレーターごとに割り当てられた業務を明確化し、 OTDR 利用の共有化を促進
- 作業の進捗を合否結果または記録用の結果により簡単に確認
- 内蔵可視光源 (VFL) でトラブルシューティングを円滑化
- 操作画面でのレポート生成と LinkWare™ アプリケーションへのアップロード
- 内蔵の Wi-Fi 機能を使って、LinkWare™ Live に結果を簡単にアップロード

Taptive ユーザー・インターフェース

たいていの OTDR は過剰なほどの多くの使い方を念頭において設計されており、ユーザー・インターフェースは操作しづらく、わかりにくくなっています。OptiFiber Pro は、最新の「ジェスチャーベース」のインターフェース・テクノロジーを静電容量方式のタッチスクリーンと組み合わせる Taptive ユーザー・インターフェースを搭載した、これまでになく革新的で使いやすい OTDR です。



View traces



Pinch and zoom in for trace detail

データセンターでさまざまな作業を完了

サーバー仮想化、さらにはサーバー、ネットワーク、ストレージ間のマルチギガビット・リンクの導入が進む中、データセンターの構築では、大量のパッチコードが使用され、コネクターのトポロジーはますます高密度となり、デッドゾーンの大きな通信事業者向け OTDR の使用は非効率なものとなっています。OptiFiber Pro は、データセンターの光ファイバー導入を可能にするばかりか、速やかな問題の解決を最高レベルの確度で支援します。

長所：

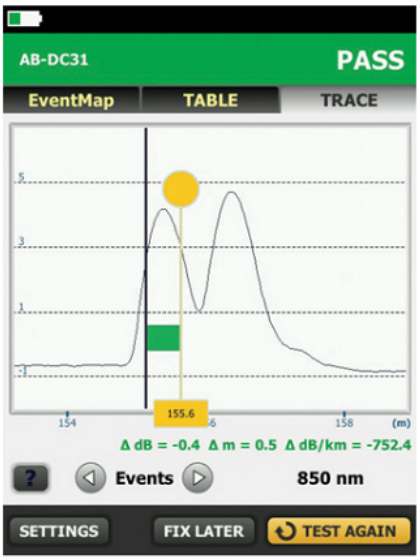
- イベントおよび減衰のデッド・ゾーンが非常に短いため、光ファイバー･リンク上のイベントや障害の位置を正確に特定できます
- Datacenter OTDR™ モードでは、設定を自動設定してデータ・センターの光ファイバーをすばやく検査
- EventMap 機能の光ファイバー･イベント表示により、トレース解析の専門知識が不要

Extremely short event and attenuation dead zone for the Enterprise OptiFiber Pro leverages the most sophisticated optical technology to provide the shortest event dead zone (0.5 m typical for MM) and attenuation dead zone (2.5 m typical for MM and 3.6 m typical for SM) of any OTDR. この先進技術により、OptiFiber Pro は、コネクターが多数存在する今日のデータ・センターやストレージ・エリア・ネットワーク環境で他の OTDR ではできないような、頻発する障害の検出と計測が可能です。

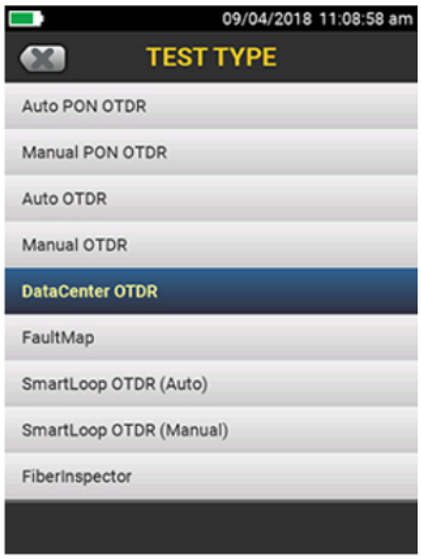
Two second trace per wavelength Another breakthrough with OptiFiber Pro is the data acquisition speed. クイック・テスト・モードでは、一連のデータを 1 波長あたりわずか 2 秒で収集します。OptiFiber Pro は、データを解析し、EventMap のイベント、テーブルまたはトレースとして画面に表示します。その結

果、テストにかかる時間は短縮され、他の作業により多くの時間をかけることができます。

DataCenter OTDR™ Mode With a simple one-touch selection, users enter DataCenter OTDR mode – without setup time for fine tuning as needed in legacy OTDRs. DataCenter OTDR モードでは、エンド（端）検出アルゴリズムやパルス幅などの OTDR パラメーターが、短いリンクや多数のコネクターに混乱することなく自動的に検出・設定されます。



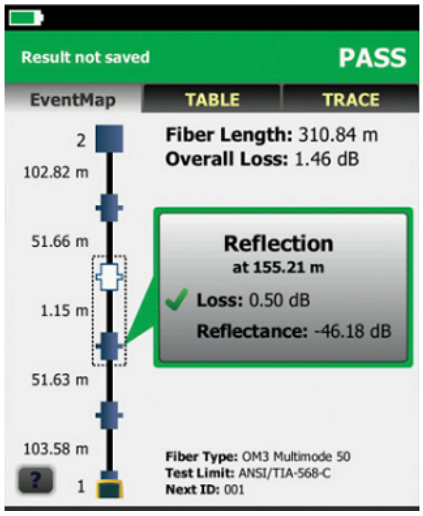
Extremely short event and attenuation dead zone for the Enterprise

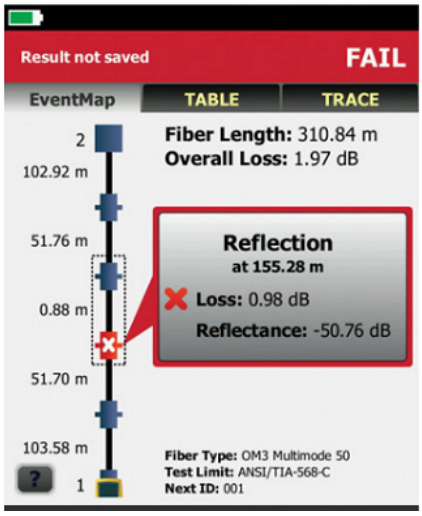


DataCenter OTDR Mode

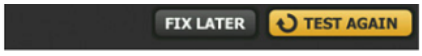
Graphical EventMap view To eliminate the learning curve associated with reading an OTDR trace, OptiFiber Pro's advanced logic automatically interprets the information to create a detailed and graphical map of events that includes connectors, splices and anomalies. さまざまな優先度に合わせて、ユーザーは EventMap、イベント・テーブル、およびトレースを簡単に切り替え、テストの詳細を表示できます。トラブルシューティングが速やかに行えるように、問題のあるイベントは赤いアイコンでハイライトされます。

オンスクリーン「ヘルプ」により、各テスト段階で、ファイバーの問題解決のための是正処置が提案されます。表示されるこのような「ヘルプ」はコンテキスト依存、すなわち表示中の画面内容に最も関連する可能性のある解決策を速やかに表示します。推奨是正処置の詳細は画面左下隅のグレーのアイコン ("？" マーク) に表示されます。



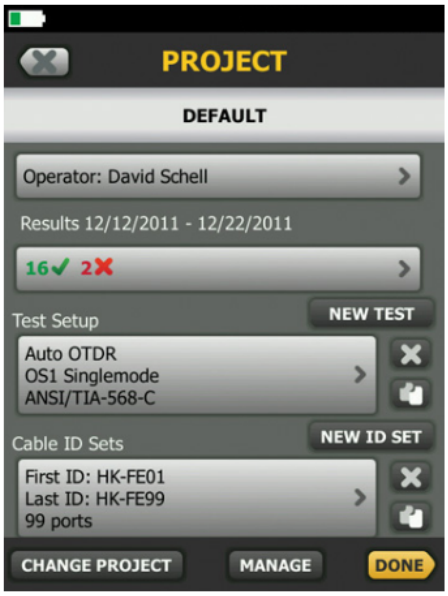


Graphical EventMap view – PASS



Eventmap – FAIL. See Help icon for on screen corrective action.

Dynamic project and user profile management with ProjX management system OptiFiber Pro enhances job efficiency by allowing the project manager to create and manage operator and job profiles per project. 定義済みのジョブや一連のケーブル ID を特定のオペレーターに割り当てることができます。また各プロジェクトの進捗とステータスも簡単に確認できます。

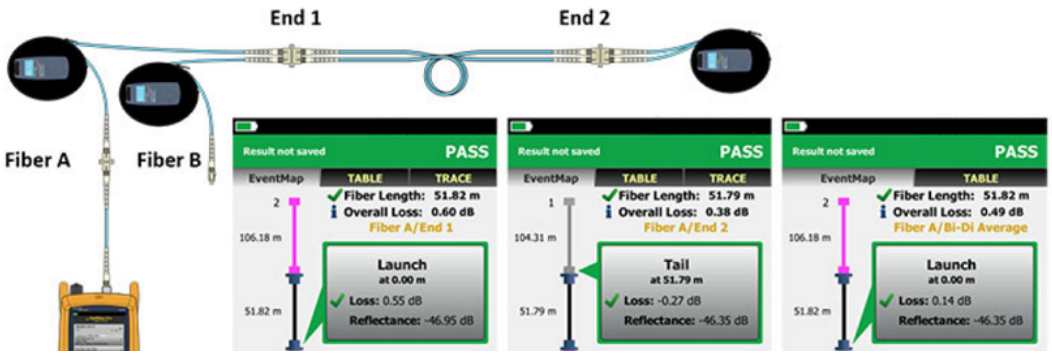


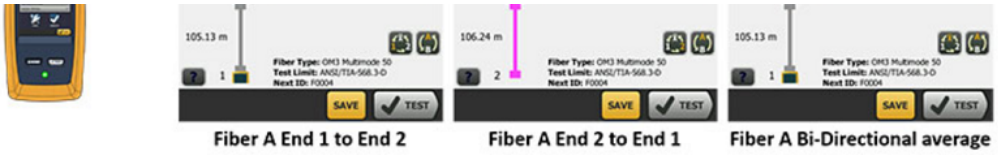
ProjX: Dynamic project and user profile management

SmartLoop OTDR

SmartLoop OTDR 機能を使用すると、規格要件を満たしながら、2 本の光ファイバーの自動テストと自動解析を 1 度の操作で行うことができます。この特許取得済みプロセスでは、2 本のファイバーの合否解析、表示、レポート作成が自動的に個別に行われます。これによってテスト時間が少なくとも半分に短縮され、OTDR を遠端に移動させることなく、双方向テスト結果の平均値を即座に得ることができます。素早く作業を完了できるだけでなく、SmartLoop は入射側試験ファイバーとテール・ファイバーを取り外すことなく双方向テストを実施することで規格要件に適合するテストを可能にします。SmartLoop OTDR を使用すると OTDR を遠端に移動させる必要がないため、遠端がたどり着くのに困難で危険な環境にあったとしても簡単かつ迅速にテストを実施できます。

SmartLoop（すべての OptiFiber Pro モジュールで無料提供）を使用することで、正確なテストを迅速に実施できます。





OptiFiber Pro's SmartLoop technology tests two fibers in one test while providing individual pass, fail and bi-directionally averaged results for each fiber link.

屋外通信設備アプリケーション用の高ダイナミック・レンジ（HDR）モジュール

OptiFiber Pro HDR は、最大 42 dB のダイナミック・レンジを実現し、屋外通信設備/FTTx/PON のテスト要件を満たすために新しい波長が追加されています。要件に応じて、3 つの波長の組み合わせを利用できます。

- 1310 / 1550 nm
- 1310 / 1490 / 1550 nm
- 1310 / 1550 / 1625 nm

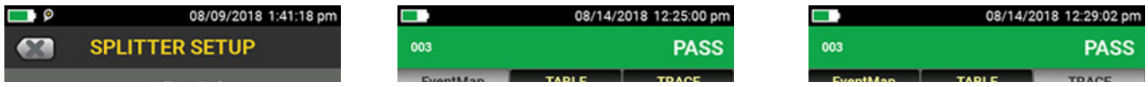
OFP-200-S (1310/1550 nm) *OFP-200-S1490 (1310/1490/1550 nm)* *OFP-200-S1625 (1310/1550/1625 nm)*

スプリッターの検出

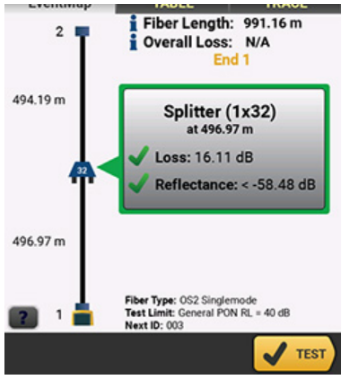
OptiFiber Pro HDR は、スプリッターを介した FTTx/PON テスト向けに最適化されています。現在最も一般的なスプリッターは 1x16 と 1x32 ですが、OptiFiber Pro HDR は、nx128 スプリッターにも対応しているため将来も使用できます。内蔵の検出機能により、スプリッターの位置と分岐比が自動的に特定されます。セットアップで最多 3 個のカスケード式スプリッターを構成できます。

OptiFiber Pro HDR は、自動 PON OTDR および手動 PON OTDR：

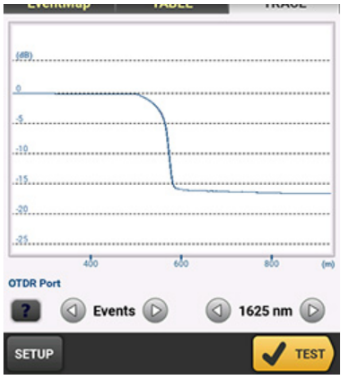
- 自動 **PON OTDR -** OSP（屋外通信設備）配線上のイベントを参照するために最適な設定がテスターによって自動的に選択されます。テスターは自動的に検出機能を使用して、スプリッターを識別します。このモードは最も使いやすく、ほとんどのアプリケーションに適しています。
- 手動 **PON OTDR –** このモードでは、トレースのパラメーターを自分で設定できます。また、リンクに接続されたスプリッターの分岐比を入力したり、検出機能を使用してスプリッターの位値や分岐比を特定することもできます。



Splitter setup



Splitter as seen on an EventMap



Splitter as seen on an OTDR trace

マクロベンド検出機能搭載

鋭い角などで光ファイバー・ケーブルが曲がると、ファイバーのコアから光が漏れます。これにより生じるマクロベンドは、機械的または光学的障害を引き起こす危険性があります。OptiFiber Pro は、複数の波長でイベントの損失を比較して、曲げとその位置を自動的に特定します。

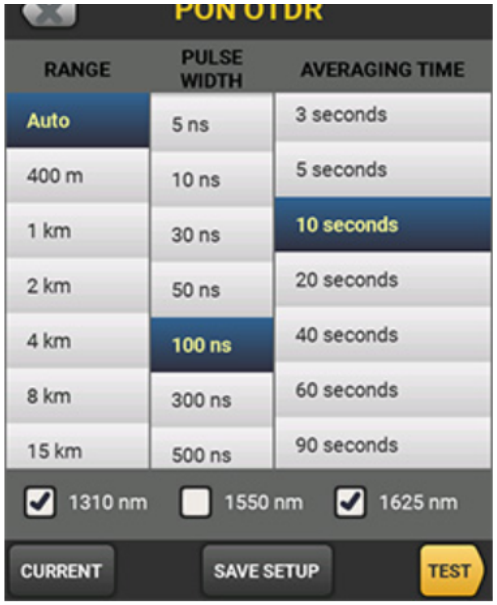
Bend as seen on a EventMap

Bend as seen on an OTDR trace

エキスパート手動モード

自動 OTDR モードから始めて、エキスパート手動モードでさまざまな設定を素早く試して、知りたい詳細情報を入手できます。

- 使いやすい手動設定 - トレース画面で、さまざまな設定を簡単に試すこができます
- 範囲、パルス幅、平均化時間、および波長の変更
- 保存する前に設定を試すことができます



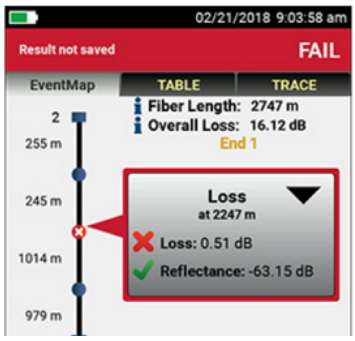
Quickly experiment with settings in Expert Manual Mode

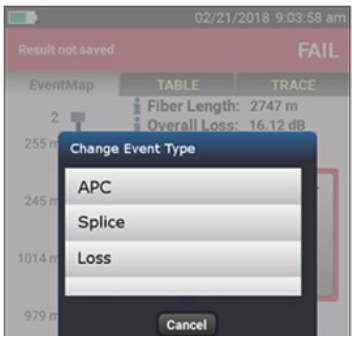
Save your Expert Manual Mode settings

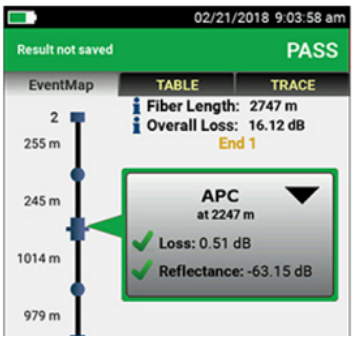
イベントの編集

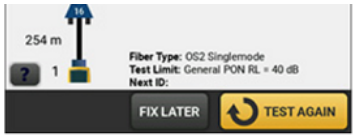
光ファイバー配線をテストまたは認証する場合、実際のリンクを反映したテスト結果を得る必要があります。OTDR は、リンク内の実際のイベントを誤認したり、すべてのイベントを検出しないことがあります。イベント編集機能を使うと、次のイベントの編集、追加、削除を行えます。

- イベントの変更：APC コネクター、スプライス、または損失イベント
- ノイズによってスプライスを検出できない場合や、スプライス損失が最小検出閾値よりも低い場合に、指定位置に 0dB イベントとしてスプライスを挿入できます
- イベントが変更されると、変更を反映してリンクの合否状態が更新されます
- APC コネクターは、スプライスと同様に無反射であるため、スプライスとして認識されることがあります。スプライスの損失バジェットは APC コネクターの損失バジェットよりも小さいため、問題を引き起こす可能性があります。スプライスを編集して APC コネクターに変更することで、リンクの損失バジェットが正確に算出されます。
- レポートでは編集したイベントに印が付けられるため、編集済みであることを容易に識別できます

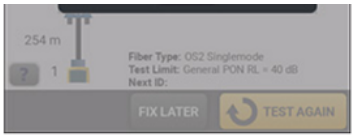




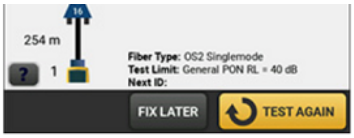




Link with an APC connector shown as a loss event



Ability to change Event type

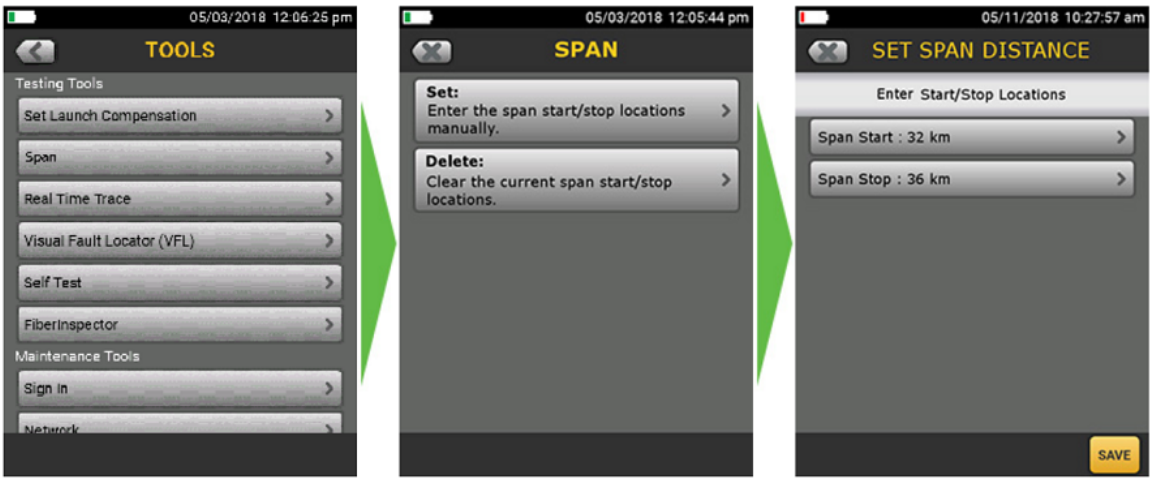


Event modified to be an APC connector

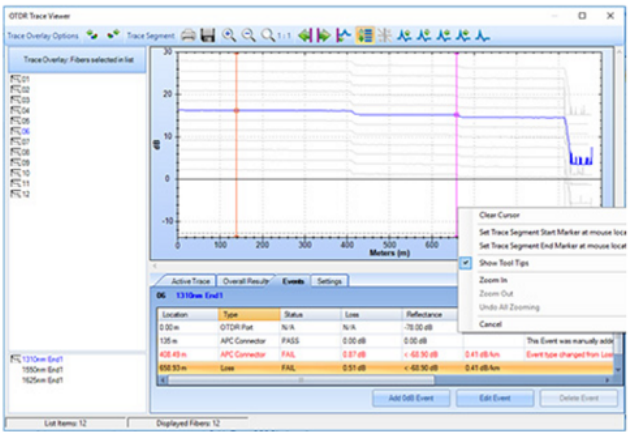
リンクの一部を測定

光ファイバー配線（特に屋外設備アプリケーション）のテストにおいて、配線の一部の区間のみが対象となることがあります。たとえば、長い幹線ケーブルの短い区間を是正している場合、スパン機能を使うと、対象区間の開始点と終了点を設定して、是正区間のみを OTDR で解析できます。

- テスト対象の光ファイバー区間の合否格解析を実行できます。
- 合否解析は測定区間で発生したイベントについてのみ生成されます。
- 測定範囲外のイベントは、参考目的でのみ評価されます。



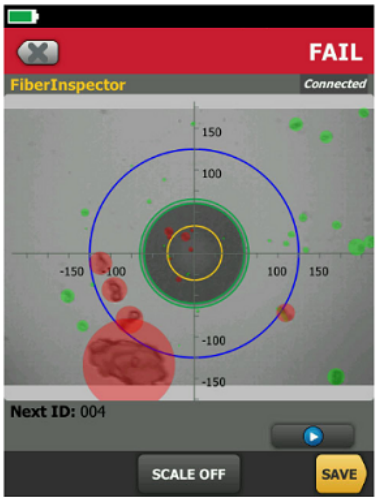
Process to set Span on an OptiFiber Pro OTDR



Setting span event parameters using LinkWare PC

光ファイバー端面検査と認証

OptiFiber Pro には、ポート内部やパッチ・コードのファイバー端面をすばやく検査して認証できる FiberInspector Pro ビデオ検査システムが組み込まれています。1 秒の自動合否判定によって主観的な判断がなくなり、誰でも専門的な光ファイバー端面検査を実施できます。結果は、OptiFiber Pro の OTDR の結果とともに、認証レポートに保存できます。



FiberInspector probe

頑丈な金属製 LC コネクタ

フルーク・ネットワークスの LC コネクタ付きテスト基準コードおよびローンチ・ファイバーは、独自の金属ラッチ設計を特徴としています。従来の LC コネクターは、コネクターの挿入や取り外し、そして最終的には破損するたびにラッチ機構を屈曲させる一体型のプラスチック設計を採用しているため、テストでの繰り返しの使用には適していません。フルーク・ネットワークスのメタル LC ラッチ・システムは、ラッチとコネクター本体の間にスプリングが配置されたマルチピース型のメタル設計を採用しています。このラッチは本体の一部ではなく、曲がらないため、ラッチ機構の寿命が大幅に向上し、LC コネクタ、ひいては TRC およびローンチ・コードの寿命を延ばします。

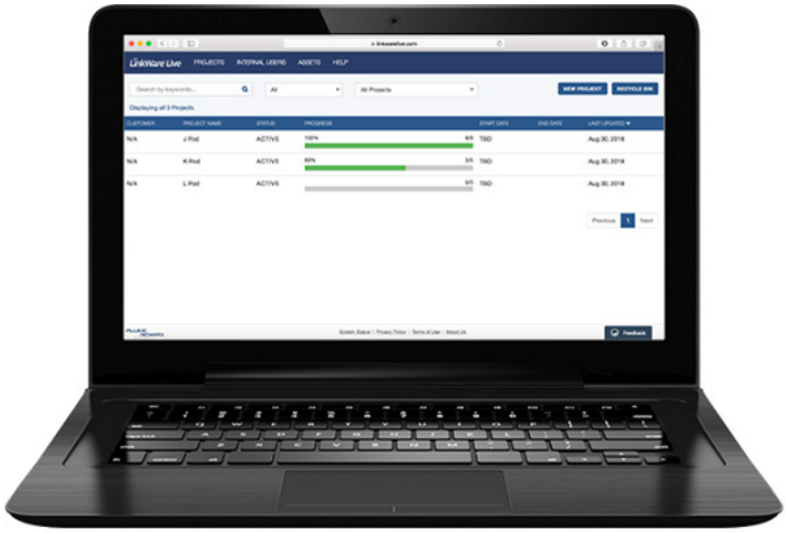
メタル LC コネクターは、IEC 61754- 20 および TIA-604-10B の嵌合互換性格に準拠しています。このラッチは、性能の低下なしに最大 10,000 回の挿入もテストされており、熱、湿度、振動、屈曲、衝撃、塩水噴霧を含むすべての GR-326-CORE 耐久性テストに合格しています。コネクター自体も非常に頑丈ですが、このガラスファイバーの端面は依然として損傷を受けやすいため、端面を検査して汚染物質がないことを確認し、必要に応じて適切にクリーニングすることが重要です。

Linkware Live

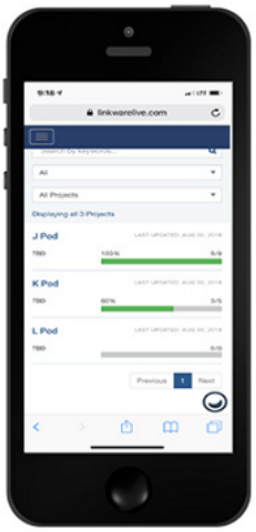
LinkWare ライブは、複数のプロジェクトを管理するケーブル技術者を対象としたフルーク・ネットワークスのサービス型ソフトウェア（SaaS）であり、他に例を見ないジョブの可視性と優れたプロジェクト管理をいつでもどこでも迅速かつ簡単に低コストで実現します。

LinkWare Live には、わかりやすいダッシュボードが用意されており、プロジェクトが予定どおりに進んでいることを確認するためのプロジェクト状況やプロジェクト活動の概要が表示されます。これにより、複数のテスターのテスト結果を直接アップロードして集約できるようになるため、データ管理における障害がなくなります。使いやすいブラウザベースでプロジェクトやテスト結果をリアルタイムにすばやく検証できるため、間違ったテストやテスト結果の欠落などによる作業し直しを回避できます。プロジェクトまたはテスト結果を検証して確認する場合は、スマート・デバイスのブラウザを使用します。また、LinkWare™ ケーブル・テスト管理ソフトウェアを LinkWare Live サービスに接続することで、テスト結果を LinkWare PC ケーブル・テスト管理ソフトウェアに直接ダウンロードして専門的なレポートを他のVersiv テスターと共通の形式で生成することもできます。

OptiFiber Pro OTDR は、LinkWare Live サービスに接続してテスターからの結果を直接アップロードするため、どこからでもリアルタイムにテスト結果にアクセスできます。



Set up and track the status of projects with LinkWare Live.



Project status my be tracked by smartphones and other devices.

LinkWare™ 管理ソフトウェア

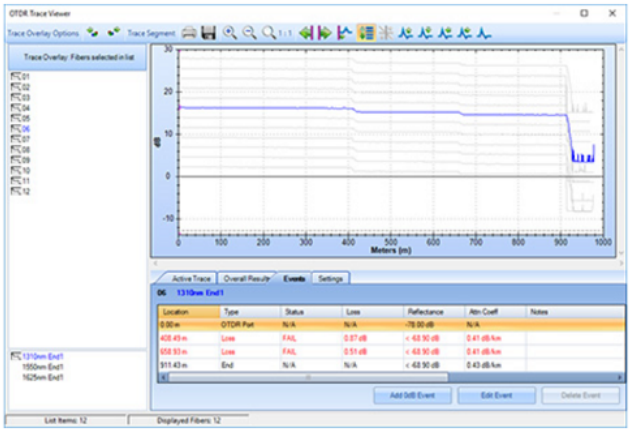
LinkWare 管理ソフトウェアを使用すると、OptiFiber Pro のユーザーは ProjX 管理システムのデータに簡単にアクセスし、テスターでレポートを生成したりソフトウェアをアップグレードしたりすることができます。プロジェクト・マネージャーはワークフローを監視し、テスト結果を統合することができます。LinkWare Stats は自動化された統計レポートを提供します。このアプリケーションにより、リンク・レポートのページごとの詳細にとらわれることなく、配線インフラの認証結果の全容を一目で確認することができます。また、この統計機能は LinkWare のテスト結果を解析し、チャートに変換することでケーブル・プラントのパフォーマンスを明らかなものとします。このレポートではケーブル・インフラ全体がコンパクトなグラフ形式にまとめられるため、マージンの確認や異常の特定が容易になります。LinkWare の以前のバージョンは、新しいバージョンと互換性があるため、情報を最新に保ち、さまざまなテスターによるテストを 1 つのテスト・レポートに統合できます。

さらに、OLTS Tier 1（ベーシック）と OTDR Tier 2（拡張）のファイバー認証結果を 1 つのレポートに結合しながら、複数のジョブを同時に管理することができます。ユーザーは、顧客からシステム承認を得るためにレポートを提示する前に、レポートに会社のロゴを加えて最後の仕上げをすることができます。このように LinkWare は、システム承認をシンプルにする有効なビジネス・ツールです。また、使用するフルーク・ネットワークスのケーブル認証テスターの種類に関係なく、LinkWare はすべてレポートしてくれます。

LinkWare PC によるスタック（重ね表示）可能な結果とトレースのバッチ処理

LinkWare PC を使うとトレースのバッチ処理を行えるため、同時に多くのトレースを素早く簡単に編集できます。トレースをスタッキングすることで、幹線内

の素線など、複数の同一ファイバーの違いを視覚的に特定できます。LinkWare PC は、複数のトレースを分離して、オーバーレイおよびスタックするため、グラフに違いが分かりやすく表示されます。



Batch Processing and stack traces in LinkWare PC

ゴールド・サポート

業界最高の機器への投資を最大限に活用してください。最高のお客様のご要望に最適化されたメンテナンス・プログラムを利用することで、予定外のダウンタイムやコストを抑えることができます。

フルーク・ネットワークスのゴールド・プログラムでは幅広い製品保証をご利用いただけるため、製品を最大限にご活用いただけます。

ゴールドの利点：	1 year GOLD MEMBERSHIP	Standard Warranty on New Products	After Standard Warranty Ends
90 Day Limited Repair or Replacement on Manufacturing Defects (Accessories)	✓	✓	
無償修理	✓	Only on Mainframe and Module Mfg. Defects	
年に 1 回の無料校正	✓		
往復送料無料	✓		
Zero Downtime During Repair/Calibration with FREE Loaner**	✓		
アクセサリーの無償交換*	✓		
2 時間以内の技術サポート応答時間	✓	< 24 時間	< 24 時間
毎日 24 時間いつでもご利用いただけるカスタマー・サポート – 電話および電子メール（ただし、英語による対応となります。）	✓	5:00AM～5:00PM（太平洋標準時間）	5:00AM～5:00PM（太平洋標準時間）
Technical Support Engineer as Primary Case Handler	✓		
限定プロモーション	✓		

*ご購入いただいた製品バンドルに含まれるアクセサリーに適用されます **一部地域に限定されています（*4-6* 週間前にご予約ください）

OptiFiber Pro シリーズ OTDR		
	OptiFiber_Pro	OptiFiber Pro HDR
シリーズのモデル	OFP2-100-M (850, 1300 nm) OFP2-100-S (1310, 1550 nm) OFP2-100-Q (850, 1300, 1310, 1550 nm)	OFP2-200-S (1310, 1550 nm) OFP2-200-S1490 (1310, 1490, 1550 nm) OFP2-200-S1625 (1310, 1550, 1625 nm)
アプリケーション	エンタープライズ、データセンター、キャンパス	FTTx、屋外通信設備、PON、POLAN、アクセス回線
波長	850 nm 1300 nm 1310 nm 1550 nm	1310 nm 1490 nm 1550 nm 1625 nm
互換性のあるファイバーのタイプ	50/125 µm、62.5 µm、シングルモード	シングルモード
OTDR ポート・コネクター	クリーニング可能な UPC フェルール、着脱式 SC アダプター付き	クリーニング可能な APC フェルール、着脱式 SC アダプター付き
付属テスト・コード	LC システムのテスト用入射側試験ファイバー	SCAPC システムのテスト用 2m TRC
OTDR タイプ	自動、データセンター、手動	自動、自動 PON、手動、手動 PON
イベント・デッド・ゾーン	850 nm：0.5 m（代表値）、1300 nm：0.7 m（代表値）、1310 nm：0.6 m（代表値）、1550 nm：0.6 m （代表値）	1310 nm：0.7 m（代表値）、1490 nm：0.7 m（代表値）、1550 nm：0.7 m（代表値）、1625 nm：0.7 m （代表値）
減衰デッド・ゾーン	850 nm：2.5 m（代表値）、1300 nm：4.5 m（代表値）、1310 nm：3.6 m（代表値）、1550 nm：3.7 m （代表値）	1310 nm：4 m（代表値）、1490 nm：4 m（代表値）、1550 nm：4 m（代表値）、1625 nm：4 m （代表値）
PON デッド・ゾーン	なし	30 m （代表値）
ダイナミック・レンジ	850 nm：28 dB (代表値) 1300 nm: 30 dB (代表値) 1310 nm: 32 dB (代表値) 1550 nm: 30 dB （代表値）	1310 nm：42 dB (代表値) 1490 nm: 41 dB (代表値) 1550 nm: 41 dB (代表値) 1625 nm: 40 dB （代表値）
反射率範囲	850 nm：-14 dB ～ -57 dB（代表値）、1300 nm：-14 dB ～ -62 dB（代表値）、1310 nm：-14 dB ～ -65 dB（代表値）、1550 nm：-14 ～ -65 dB （代表値）	1310 nm：-14 to -70 dB (typical), 1490 nm: -14 dB to 70 dB (typical), 1550 nm: -14 dB ～ -70 dB（代表値）、1625 nm：-14 ～ -70 dB （代表値）
サンプリング分解能	3 cm ～ 400 cm	3cm ～2 m
サンプリング・ポイント	64,000 個まで	129,000 個まで
エキスパート手動モード	はい	はい
双方向試験結果の平均化機能を備えた SmartLoop	はい	はい
マクロベンド検出機能搭載	はい	はい
スパン機能のサポー	2019 年初めに発売開始	

ト	[illegible]	
イベントの編集と追加	2019 年初めに発売開始	
VFL	はい	はい

OptiFiber Pro の仕様

	Multimode Module (OFP2-100-M)	Singlemode Module (OFP2-100-S)	Quad Module (OFP2-100-Q)
波長	850 nm +/- 10 nm 1300 nm +35/-15 nm	1310 nm +/- 25 nm 1550 nm +/- 30 nm	850 nm +/- 10 nm、1300 nm +35/-15 nm、1310 nm +/- 25 nm、1550 nm +/- 30 nm
互換性のあるファイバーのタイプ	50/125 µm 62.5/125 µm	シングルモード	50/125 µm、62.5/125 µm、シングルモード
イベント・デッド・ゾーン1	850 nm：0.5 m (代表値) 1300 nm: 0.7 m （代表値）	1310 nm：0.6 m (代表値) 1550 nm: 0.6 m （代表値）	850 nm：0.5 m（代表値）、1300 nm：0.7 m（代表値）、1310 nm：0.6 m（代表値）、1550 nm：0.6 m （代表値）
減衰デッド・ゾーン2	850 nm：2.5 m (代表値) 1300 nm: 4.5 m （代表値）	1310 nm：3.6 m (代表値) 1550 nm: 3.7 m （代表値）	850 nm：2.5 m（代表値）、1300 nm：4.5 m（代表値）、1310 nm：3.6 m（代表値）、1550 nm：3.7 m （代表値）
ダイナミック・レンジ 3、5、6	850 nm：28 dB (代表値) 1300 nm: 30 dB （代表値）	1310 nm：32 dB (代表値) 1550 nm: 30 dB （代表値）	850 nm：28 dB（代表値）、1300 nm：30 dB（代表値）、1310 nm：32 dB（代表値）、1550 nm：30 dB （代表値）
距離範囲設定の最大値	40 km	130 km	MM：40 km、SM：130 km
距離測定範囲 4、5、7、8、9、10	850 nm：9 km 1300 nm: 35 km	1310 nm：80 km 1550 nm: 130 km	850 nm：9キロ、 1300 nm：35キロ、 1310 nm：80キロ、 1550 nm：130 km
反射率レンジ 4、5	850 nm：-14 dB～-57 dB (代表値) 1300 nm: -14 ～ -62 dB （代表値）	1310 nm：-14 dB～-65 dB (代表値) 1550 nm: -14 ～ -65 dB （代表値）	850 nm：-14 dB ～ -57 dB（代表値）、1300 nm：-14 dB ～ -62 dB（代表値）、1310 nm：-14 dB ～ -65 dB（代表値）、1550 nm：-14 ～ -65 dB （代表値）
サンプル分解能	3 cm ～ 400 cm	3 cm ～ 400 cm	3 cm ～ 400 cm
パルス幅（定格）	850 nm：3、5、20、40、200 ns 1300 nm: 3、5、20、40、200、1000 ns	3、10、30、100、300、1000、3000、10000、20000 ns	850 nm：3、5、20、40、200 ns、1300 nm：3、5、20、40、200、1000 ns、1310/1550 nm：3、10、30、100、300、1000、3000、10000、20000 ns
	自動設定：5 秒（代表値）	自動設定：10 秒（代表値）	自動設定：MM – 5 秒（代表値）、SM – 10 秒（代表値）
	クイック・テスト設定：2 秒（代表値）	クイック・テスト設定：5 秒（代表値）	クイック・テスト設定：MM – 2 秒（代表値）、SM – 5 秒（代表値）

テスト時間（1 波長あたり）	最高の分解能を得るための設定：2 ～ 180 秒	最高の分解能を得るための設定：5 ～ 180 秒	最高の分解能を得るための設定：MM – 2 ～ 180 秒、SM – 5 ～ 180 秒
	FaultMap 設定：2 秒（代表値）、180 秒（最大値）	FaultMap 設定：10 秒（代表値）、180 秒（最大値）	FaultMap 設定：MM – 2 秒 (代表値) MM – 180 秒 (最大値) SM – 10 秒 (代表値) SM – 180 秒 (最大値)
	DataCenter OTDR 設定：1 秒（850 nm での代表値）、7 秒（最大値）	DataCenter OTDR 設定：20 秒（代表値）、40 秒（最大値）	DataCenter OTDR 設定：MM – 1 秒 (850 nm での代表値) MM – 7 秒 (最大値) SM – 20 秒 (代表値) SM – 40 秒 (最大値)
	手動設定：3、5、10、20、40、60、90、120、180 秒	手動設定：3、5、10、20、40、60、90、120、180 秒	手動設定：MM - 3、5、10、20、40、60、90、120、180 秒 SM - 3、5、10、20、40、60、90、120、180 秒
1. 1.5 dB 以下の、パルス幅が最も短い不飽和状態の反射ピークで測定。マルチモードでは *40 dB* 以下の反射ピーク、シングルモードでは *50 dB* 以下の反射ピーク。*2.* パルス幅が最も短い後方散乱から *± 0.5 dB* の偏差で測定。マルチモードでは *40 dB* 以下の反射ピーク、シングルモードでは *50 dB* 以下の反射ピーク。*3. OM1* ファイバーの代表的な後方散乱係数：*850*：*-65 dB*。*1300*：*-72 dB*。*4. OM2-OM4* ファイバーの代表的な後方散乱および減衰係数：*850 nm*：*-68 dB*、*2.3 dB/km*。*1300 nm*：*-76 dB*、*0.6 dB/km*。*5. OS1-OS2* ファイバーの代表的な後方散乱および減衰係数：*1310nm*：*-79 dB*、*0.32 dB/km*。*1550 nm*：*-82 dB*、*0.19 dB/km*。*6. SNR=1* 方式、*3* 分で平均化、最大のパルス幅。*7. 850 = 9 km*（代表値）で終端を検出、または *7 km*（代表値）で *0.1 dB* イベントを検出（イベント前の減衰の最大値は *18 dB*）。*8. 1300 = 35 km*（代表値）で終端を検出、または *30 km*（代表値）で *0.1 dB* イベントを検出（イベント前の減衰の最大値は *18 dB*）。*9. 1310 = 80 km*（代表値）、イベント検出 *– 60 km*（代表値）で *0.1 dB* イベントを検出（イベント前の減衰の最大値は *20 dB*）。*10. 1550 = 130 km*（代表値）で終端を検出、または *90 km*（代表値）で *0.1 dB* イベントを検出（イベント前の減衰の最大値は *18 dB*）。			

OptiFiber Pro HDR の仕様

	Singlemode module (OFP2-200-S)	Singlemode + 1490 nm module (OFP2-200-S1490)	Singlemode + 1625 nm module (OFP2-200-S1625)
波長	1310 nm +/- 25 nm 1550 nm +/- 20 nm	1310 nm +/- 25 nm 1490 nm +/- 20 nm 1550 nm +/- 20 nm	1310 nm +/- 25 nm 1550 nm +/- 20 nm 1625 nm +/- 20 nm
互換性のあるファイバーのタイプ	シングルモード		
OTDR ポート・コネクター	クリーニング可能な APC フェルール、着脱式 SC アダプター付き		
イベント・デッド・ゾーン1	0.7 m （代表値）		
Attenuation dead zone2	4 m （代表値）		
PON dead zone3	30 m （代表値）		
ダイナミック・レンジ 4、5	1310 nm：42 dB (代表値) 1550 nm: 41 dB （代表値）	1310 nm：42 dB (代表値) 1490 nm: 41 dB (代表値) 1550 nm: 41 dB （代表値）	1310 nm：42 dB (代表値) 1550 nm: 41 dB (代表値) 1625 nm: 40 dB （代表値）
反射率範囲 4	-14 dB～-70 dB (代表値)		
サンプル分解能	3cm ～2 m		

サンプリング・ポイント	129000 個まで
パルス幅（定格）	5, 10, 30, 50, 100, 300, 500, 1000, 3000, 5000, 10000, 20000 ns
長さの不確実性	+/-(1 + 0.0005*長さ + 0.5*分解能)
リニアリティ	± 0.03 dB/dB
反射率の不確実性	± 2 dB
テスト時間（1 波長あたり）	自動設定：5 秒/波長（代表値）
	自動 PON 設定：10 秒/波長（代表値）
	手動設定：3、5、10、20、40、60、90、120、180 秒/波長
	手動 PON 設定：3、5、10、20、40、60、90、120、180 秒/波長
	クイック・テスト設定：3 秒/波長（代表値）
	最高の分解能を得るための設定：5～180 秒/波長
レーザー・クラス	クラス I CDRH は EN 60825-2 第 3 版に準拠
校正実施時期	1 年間

1. 1.5 dB 以下の、パルス幅が最も短い不飽和状態の反射ピークで測定。反射ピーク - 50 dB。2. パルス幅が最も短い後方散乱から ± 0.5 dB の偏差で測定。反射ピーク - 50 dB。3. 後方散乱から +/- 0.5 dB の偏差で測定。1:16 無反射スプリッター、50 ns のパルス幅、および 3 cm のサンプル分解能を使用。4. OS1-OS2 ファイバーの代表的な後方散乱係数：1310 nm：-79 dB; 1490 nm: -81 dB; 1550 nm: -82 dB; 1625 nm: -84 dB。5. 3 分平均、最長幅パルス、ファイバー長 100 km、SNR = 1。

OptiFiber Pro シリーズの仕様

FiberInspector プローブの仕様	
倍率	~ 200 倍 （OptiFiber Pro ディスプレイを使用時）
光源	青色 LED
電源	Versiv メインフレーム
視界 （FOV）	水平：425 µm、垂直：320 µm
最小検出可能粒子サイズ	0.5 µm
寸法	約 1175 mm × 35 mm (アダプター・チップなし)
重量	200 g
温度域	動作：0 °C ～ +50 °C、保管：-20°C ～ +70°C

可視光源 (VFL) 仕様	
オン/オフ制御	機械式スイッチおよびタッチ画面上のボタン
出力	316 µW (-5 dBm) ≤ ピーク出力 ≤ 1.0 mW (0 dBm)
作動波長	650 nm 公称値
スペクトル幅 (RMS)	±3 nm
出力モード	出力モード 連続波。 パルス・モード （2 Hz ～ 3 Hz 明滅頻度）
コネクター・アダプタ	2.5 mm ユニバーサル
レーザー安全性（等級）	クラス II CDRH。EN 60825-2 に適合
詳しいキット構成については、www.flukenetworks.com/versivconfig をご覧ください	

技術仕様

一般仕様	
重量	メインフレーム（モジュールおよびバッテリーを含む）：1.28 kg
寸法	メインフレーム（モジュールおよびバッテリーを含む）：寸法 ： 6.67 cm × 13.33 cm × 27.94 cm
バッテリー	リチウムイオン・バッテリー・パック、7.2 V
バッテリー使用時間	8 時間の自動 OTDR 実行、2 波長、ビデオ・プローブ非接続、ファイバー長 150 m
Wi-Fi 機能内蔵	IEEE 802.11 a/b/g/n、デュアル・バンド（2.4 GHz および 5 GHz）対応

充電時間	
テスターの電源オフ時	4 時間（10% ～ 90% の充電）
テスターの電源オン時	6 時間（10% ～ 90% の充電、テスターがオンの状態）

環境仕様	
作動温度*	-18º C ～ 45º C
保管温度	-30º C ～ 60º C
作動高度	4,000 m（13,123 フィート）、3,200 m（10,500 フィート）、AC アダプタ使用時
保管高度	12,000 m
EMC	EN 61326-1

• バッテリー使用時。AC 電源使用時： 0º C～45º C。リアルタイム・トレース機能を 15 分間中で最大 5 分使用した場合。リアルタイム・トレース機能の連続使用時の最高環境温度は 35ºC です。 • バッテリーの容量を維持するため、バッテリーを 1 週間以上 -20ºC（-4° F より低温）または 50ºC（122° F） より高温の場所に置かないでください。

アクセサリー

OptiFiber Pro Wi-Fi対応モデル	
モデル	詳細
OFP2-100-QI	OptiFiber Pro 4 波長 OTDR V2 キット、端面検査および Wi-Fi 機能付き
OFP2-100-QI/GLD	OptiFiber Pro 4 波長 OTDR V2 キット、端面検査、Wi-Fi 機能および 1 年間ゴールド・サポート付き
OFP2-CFP-QI	OptiFiber Pro + CertiFiber Pro 4 波長 V2 キット、検査および Wi-Fi 機能付き
OFP2-100-Q	OptiFiber Pro 4 波長 OTDR V2 キット、Wi-Fi 機能付き
OFP2-100-Q/GLD	OptiFiber Pro 4 波長 OTDR V2 キット、Wi-Fi 機能および 1 年間ゴールド・サポート付き
OFP2-100-MI	OptiFiber Pro マルチモード OTDR V2 キット、端面検査および Wi-Fi 機能付き
OFP2-100-M	OptiFiber Pro マルチモード OTDR V2 キット、Wi-Fi 機能付き
OFP2-100-SI	OptiFiber Pro シングルモード OTDR V2 キット、端面検査および Wi-Fi 機能付き
OFP2-100-S	OptiFiber Pro シングルモード OTDR V2 キット、Wi-Fi 機能付き

OptiFiber Pro 有線モデル	
モデル	詳細
OFP2-100-Q-NW	OptiFiber Pro 4 波長 OTDR V2 キット
OFP2-100-M-NW	OptiFiber Pro マルチモード OTDR V2 キット
OFP2-100-S-NW	OptiFiber Pro シングルモード OTDR V2 キット

OptiFiber Pro HDR 無線モデル	
モデル	詳細
OFP2-200-S	OptiFiber Pro HDR OTDR V2 キット（1310、1550 nm）、Wi-Fi 機能付き
OFP2-200-S1490	OptiFiber Pro HDR OTDR V2 キット（1310、1490、1550 nm）、Wi-Fi 機能付き
OFP2-200-S1625	OptiFiber Pro HDR OTDR V2 キット（1310、1550、1625 nm）、Wi-Fi 機能付き
OFP2-200-Si	OptiFiber Pro HDR OTDR V2 キット（1310、1550 nm）、検査および Wi-Fi 機能付き

OFP2-200-Si1490	OptiFiber Pro HDR OTDR V2 キット（1310、1490、1550 nm）、検査および Wi-Fi 機能付き
OFP2-200-Si1625	OptiFiber Pro HDR OTDR V2 キット（1310、1550、1625 nm）、検査および Wi-Fi 機能付き
OFP2-200-Si/GLD	OptiFiber Pro HDR OTDR V2 キット（1310、1550 nm）、検査、Wi-Fi 機能および 1 年間ゴールド・サポート付き
OFP2-200-Si14/GLD	OptiFiber Pro HDR OTDR V2 キット（1310、1490、1550 nm）、検査、Wi-Fi 機能および 1 年間ゴールド・サポート付き
OFP2-200-Si16/GLD	OptiFiber Pro HDR OTDR V2 キット（1310、1550、1625 nm）、検査、Wi-Fi 機能および 1 年間ゴールド・サポート付き

OptiFiber Pro HDR 有線モデル	
モデル	詳細
OFP2-200-S-NW	OptiFiber Pro HDR OTDR V2 キット（1310、1550 nm）
OFP2-200-S1490-NW	OptiFiber Pro HDR OTDR V2 キット（1310、1490、1550 nm）
OFP2-200-S1625-NW	OptiFiber Pro HDR OTDR V2 キット（1310、1550、1625 nm）

UPC/UPC 入射側試験コード	
モデル	詳細
MMC-50-SCSC	マルチモード 50 µm 入射側試験コード（105 m）SC/SC
MMC-50-SCLC-M	マルチモード 50 µm 入射側試験コード (105 m) SC/LC - メタル
MMC-50-LCLC-M	マルチモード 50 µm 入射側試験コード (105 m) SC/LC - メタル
MMC-50-SCST	マルチモード 50 µm 入射側試験コード（105 m）SC/ST
MMC-50-STST	マルチモード 50 µm 入射側試験コード（105 m）ST/ST
MMC-50-SCFC	マルチモード 50 µm 入射側試験コード（105 m）SC/FC
MMC-50-FCFC	マルチモード 50 µm 入射側試験コード（105 m）FC/FC
MMC-50-SCE2K	マルチモード 50 µm 入射側試験コード（105 m）SC/E2K
MMC-62-SCSC	マルチモード 62.5 µm 入射側試験コード（105 m）SC/SC
MMC-62-SCLC-M	マルチモード 62.5 µm 入射側試験コード (105 m) SC/LC - メタル
MMC-62.5-LCLC-M	マルチモード 62.5 µm 入射側試験コード (105 m) SC/LC - メタル
MMC-62-SCST	マルチモード 62.5 µm 入射側試験コード（105 m）SC/ST
MMC-62.5-STST	マルチモード 62.5 µm 入射側試験コード（105 m）ST/ST
MMC-62-SCFC	マルチモード 62.5 µm 入射側試験コード（105 m）SC/FC

MMC-62.5-FCFC	マルチモード 62.5 µm 入射側試験コード（105 m）FC/FC
SMC-9-SCSC	シングルモード 9 µm ランチコード (160 m) SC/SC
SMC-9-SCLC-M	シングルモード 9 µm 入射側試験コード (160 m) SC/LC - メタル
SMC-9-LCLC-M	シングルモード 9 µm 入射側試験コード (160 m) LC/LC - メタル
SMC-9-SCST	シングルモード 9 µm ランチコード (160 m) SC/ST
SMC-9-STST	シングルモード 9 µm ランチコード (160 m) ST/ST
SMC-9-SCFC	シングルモード 9 µm ランチコード (160 m) SC/FC
SMC-9-FCFC	シングルモード 9 µm ランチコード (160 m) FC/FC

UPC/APC 入射側試験コード	
モデル	詳細
SMC-9-SCE2KAPC	シングルモード 9 µm ランチコード (160 m) SC/E2000 APC
SMC-9-SCSCAPC	シングルモード 9 µm ランチコード (160 m) SC/SCAPC
SMC-9-SCFCAPC	シングルモード 9 µm ランチコード (160 m) SC/FCAPC
SMC-9-SCLCAPC-M	シングルモード 9 µm 入射側試験コードド (160 m) SC/LCAPC - メタル
SMC-9-SCAPC/LC-M	シングルモード 9 µm 入射側試験コード (160 m) SCAPC/LCUPC - メタル
SMC-9-SCAPC/FC	シングルモード 9 µm ランチコード (160 m) SCAPC/FCUPC
SMC-9-SCAPC/ST	シングルモード 9 µm ランチコード (160 m) SCAPC/STUPC

APC/APC 入射側試験コード	
モデル	詳細
SMC-9-SCAPC/SCAPC	シングルモード 9 µm ランチコード (160 m) SCAPC/SCAPC
SMC-9-SCAPC/LCAPCM	シングルモード 9 µm 入射側試験コード (160 m) SCAPC/LCAPC - メタル
SMC-9-SCAPC/FCAPC	シングルモード 9 µm ランチコード（16 0m）SCAPC/FCAPC
SMC-9-SCAPC/E2KAPC	シングルモード 9 µm ランチコード (160 m) SCAPC/E2KAPC
SMC-9-LCAPC/LCAPCM	シングルモード 9 µm 入射側試験コード (160 m) LCAPC/LCAPC - メタル
SMC-9-FCAPC/FCAPC	シングルモード 9 µm ランチコード (160 m) FCAPC/FCAPC
SMC9-E2KAPC/E2KAPC	シングルモード 9 µm ランチコード (160 m) E2KAPC/E2KAPC

ポート・プロテクター	
モデル	詳細
MRC-50-SCSC-0.3m	OTDR ポート用マルチモード 50 µm TRC 0.3 m (SC/SC)
MRC-50-LCLC-0.3m-M	OTDR ポート用マルチモード 50 µm TRC 0.3 m (LC/LC) - メタル
MRC-62.5-SCSC-0.3m	OTDR ポート用シングルモード 9 µm TRC 0.3 m (SC/SC)
SRC-9-SCSC-0.3m	OTDR ポート用シングルモード 9 µm TRC 0.3 m (SC/SC)
SRC-9-SCLC-0.3m-M	OTDR ポート用シングルモード 9 µm TRC 0.3 m (SC/LC) - メタル
MRC-62.5-LCLC-0.3m-M	OTDR ポート用マルチモード 62.5 µm TRC 0.3 m (LC/LC) - メタル
SRC-9-LCLC-0.3m-M	OTDR ポート用シングルモード 9 µm TRC 0.3 m (SC/LC) - メタル
SRC9SCAPCSCAPC0.3m	OTDR ポート用シングルモード 9 µm TRC 0.3 m (SCAPC/SCAPC)
SRC9SCAPCLCAPC0.3mM	OTDR ポート用シングルモード 9 µm TRC 0.3 m (SCAPC/LCAPC) - メタル
SRC9SCAPCSCUPC0.3m	OTDR ポート用シングルモード 9 µm TRC 0.3 m (SCAPC/SCUPC)

テスト基準コード	
モデル	詳細
SRC-9-SCAPC/SCAPC	SCAPC/SCAPC テスト用シングルモード 9 µm TRC (2 m)
SRC-9-SCAPC/LCAPC	SCAPC/LCAPC テスト用シングルモード 9 µm TRC (2 m)
SRC-9-SCAPC/FCAPC	SCAPC/FCAPC テスト用シングルモード 9 µm TRC (2 m)
SRC-9-SCAPC/E2KAPC	SCAPC/E2KAPC テスト用シングルモード 9 µm TRC (2 m)

アクセサリー	
モデル	詳細
ADP-DuplexSC	SC-SC デュプレックス・アダプター
ADP-DuplexLC	LC-LC デュプレックス・アダプター
ADP-Duplex-SCAPC	SCAPC-SCAPC デュプレックス・アダプター
ADP-Duplex-LCAPC	LCAPC-LCAPC デュプレックス・アダプター

PA-SC	OTDR 光源ポート交換用 SC アダプター
PA-LC	OTDR ソース・ポート交換可能 LC アダプター
PA-ST	OTDR 光源ポート交換用 ST アダプター
PA-FC	OTDR 光源ポート交換用 FC アダプター
VERSIV-TSET	Versiv ヘッドホン・セット
VERSIV-BATTERY	Versiv バッテリー
PWR-SPLY-30W	30W パワー・サプライ、15V、 2A（米国用アダプター付き）
PWR-SPLY-30W INTL	30W パワー・サプライ、15V、 2A（米国、欧州、オーストラリア、英国用アダプター付き）
PWR-SPLY-30W SA/IN	30W パワー・サプライ、15V、 2A（米国、南アフリカ、インド用アダプター付き）
PWR-SPLY-ADP	30W パワー・サプライ用欧州、オーストラリア、英国用アダプター
PWR-SPLY-ADP-SA	30W パワー・サプライ用南アフリカ、インド用アダプター
VERSIV-STRP	Versiv ストラップ・キット
VERSIV-STND	Versiv スタンド
VERSIV-CASE3	VERSIV ハード・ケース
Versiv-Field-Case	Versiv 防沫フィールド・ケース
Versiv-XL-Case	Versiv 特大キャリング・ケース
VERSIV-LG-CASE	Versiv 大型キャリング・ケース
VERSIV-SM-CASE	Versiv 小型キャリング・ケース
VERSIV-BACKPK-STRP	Versiv 大型ケース用バックパック・ストラップ

FiberInspector プローブ・モデルおよびアクセサリー	
モデル	詳細
FI-1000	FI-1000 FiberInspector USB ビデオ・プローブ
FI-1000-KIT	FI-1000 FiberInspector USB ビデオ・プローブ、LC、FC/SC バルクヘッド、1.25 および 2.5 mm ユニバーサル・チップ付き
FI1000-SCFC-TIP	SC および FC バルクヘッド・ビデオ·プローブ·チップ
FI1000-TIP-KIT	LC、FC/SC バルクヘッド、1.25 および 2.5 mm ユニバーサル・チップ同梱
FI1000-LC-TIP	LC バルクヘッド・ビデオ·プローブ·チップ
FI1000-ST-TIP	ST バルクヘッド・ビデオ·プローブ·チップ

FI1000-MU-TIP	MU バルクヘッド・ビデオ·プローブ·チップ
FI1000-E2KAPC-TIP	E2000/APC バルクヘッド・ビデオ·プローブ·チップ
FI1000-SCAPC-TIP	SC/APC バルクヘッド・ビデオ·プローブ·チップ
FI1000-E2K-TIP	E2000 バルクヘッド・ビデオ・プローブ・チップ
FI1000-LCAPC-TIP	LC/APC バルクヘッド・ビデオ·プローブ·チップ
FI1000-2.5-UTIP	2.5 mm ユニバーサル・ビデオ・プローブ・チップ、パッチ・コード用
FI1000-1.25-UTIP	1.25 mm ユニバーサル・ビデオ・プローブ・チップ、パッチ・コード用
FI1000-2.5APC-UTIP	2.5 mm APC ユニバーサル・ビデオ・プローブ・チップ（パッチ・コード用）
FI1000-MPO-UTIP	パッチ・コードおよびバルクヘッド用の MPO プローブ·チップ (トランスレータ・ノブ付き)
FI1000-MPOAPC-UTIP	MPO/MTP APC プローブ·チップ、パッチ・コードおよびバルクヘッド用 (トランスレーター・ノブ付き)
FI1000-1.25APC-UTIP	1.25 mm APC ユニバーサル・ビデオ・プローブ・チップ、パッチ・コード用

OptiFiber Pro ゴールド・サポート・モデル	
モデル	詳細
GLD-OFP-100-QI	1 年間ゴールド・サポート、OFP2-100-QI または OFP-100-QI
GLD3-OFP-100-QI	3 年間ゴールド・サポート、OFP2-100-QI または OFP-100-QI
GLD-OFP-CFP-QI	1 年間ゴールド・サポート、OFP2-CFP-QI または OFP-CFP-QI
GLD3-OFP-CFP-QI	3 年間ゴールド・サポート、OFP2-CFP-QI または OFP-CFP-QI
GLD-OFP-100-Q	1 年間ゴールド・サポート、OFP2-100-Q または OFP-100-Q
GLD3-OFP-100-Q	3 年間ゴールド・サポート、OFP2-100-Q または OFP-100-Q
GLD-OFP-100-MI	1 年間ゴールド・サポート、OFP2-100-MI または OFP-100-MI
GLD3-OFP-100-MI	3 年間ゴールド・サポート、OFP2-100-MI または OFP-100-MI
GLD-OFP-100-M	1 年間ゴールド・サポート、OFP2-100-M または OFP-100-M
GLD3-OFP-100-M	3 年間ゴールド・サポート、OFP2-100-M または OFP-100-M
GLD-OFP-100-SI	1 年間ゴールド・サポート、OFP2-100-SI または OFP-100-SI
GLD3-OFP-100-SI	3 年間ゴールド・サポート、OFP2-100-SI または OFP-100-SI
GLD-OFP-100-S	1 年間ゴールド・サポート、OFP2-100-S または OFP-100-S
GLD3-OFP-100-S	3 年間ゴールド・サポート、OFP2-100-S または OFP-100-S

OptiFiber Pro HDR ゴールド・サポート・モデル	
モデル	詳細
GLD-OFP-200-S	1 年間ゴールド・サポート、OFP-200-S または OFP-200-S-NW
GLD3-OFP-200-S	3 年間ゴールド・サポート、OFP-200-S または OFP-200-S-NW
GLD-OFP-200-S14	1 年間ゴールド・サポート、OFP-200-S1490 または OFP-200-S1490-NW
GLD3-OFP-200-S14	3 年間ゴールド・サポート、OFP-200-S1490 または OFP-200-S1490-NW
GLD-OFP-200-S16	1 年間ゴールド・サポート、OFP-200-S1625 または OFP-200-S1625-NW
GLD3-OFP-200-S16	3 年間ゴールド・サポート、OFP-200-S1625 または OFP-200-S1625-NW
GLD-OFP-200-Si	1 年間ゴールド・サポート、OFP-200-Si
GLD3-OFP-200-Si	3 年間ゴールド・サポート、OFP-200-Si
GLD-OFP-200-Si14	1 年間ゴールド・サポート、OFP-200-Si1490
GLD3-OFP-200-Si14	3 年間ゴールド・サポート、OFP-200-Si1490
GLD-OFP-200-Si16	1 年間ゴールド・サポート、OFP-200-Si1625
GLD3-OFP-200-Si16	3 年間ゴールド・サポート、OFP-200-Si1625

OptiFiber Pro モデルおよびアクセサリーの詳しいリストについては、*/OPRO* をご覧ください。

フルーク・ネットワークスについて

フルーク・ネットワークスは、優れた認証/トラブルシューティング/インストレーション･ツールを提供する世界大手企業です。当社の製品は、重要なネットワーク・ケーブル配線インフラを設置・保守する技術者を対象にしています。弊社は、信頼性と比類ない能力において高い評価をいただいております。最先端のデータセンターの設置から悪天候のサービス復旧作業に至るまで、すべての作業を効率的に行います。当社の主力製品には、クラウド接続を利用した世界最先端の革新的ケーブル認証ソリューション、LinkWare™ Live が含まれ、これまでに 1400 万件以上の結果がアップロードされています。

1-800-283-5853 (US & Canada)
1-425-446-5500 (米国外)
http://www.flukenetworks.com

Descriptions, information, and viability of the information contained in this document are subject to change without notice.

Revised: 2023 年 1 月 30 日 3:01 PM
Literature ID: 4137124F

© Fluke Networks 2018